

稲毛海浜公園自然観察会

浜辺のいきものを観察しよう！

梅宮玲子(市原市)

日 時：2022年5月29日(日) 10時から12時 天気：快晴

場 所：稲毛海浜公園(千葉市)

参加者：31名(大人16名、子ども15名)

担当指導員：田島 平田雅 梅宮、事務局：伊藤、管理事務所3名

雲一つない猛暑の中、「浜辺のいきものを観察しよう！」の観察会を3班に分かれて開始しました。検温消毒後、熱中症対策としてこまめな水分補給、海の危険な生き物に触れない事、また浜辺では、お子さんから目を離さないよう保護者の方をお願いいたしました。

最初に、生き物を探してきてもらい、海水をはったバットに貝、甲殻類、クラゲ、魚、ゴカイ類、海藻類に分け、11時15分すぎから田島さんがその内の何点かについて説明しました。バカガイ、アサリ、イボニシ、アラムシロガイ、ツメタガイと砂茶碗。ガザミ、タカノケフサイソガニ、イソガニ、ユビナガホンヤドカリ、エビジャコの仲間、ヨコエビ、トゲワレカラ。沢山のミズクラゲ。アマモ、アオサ。ハゼ、ボラ。タマシキゴカイ、スゴカイイソメの棲管、スピオの仲間、イワムシ。岩場ではタテジマイソギンチャク。雌のフナムシの卵がどこについているかも観察しました。

参加者の感想として、海がどうなっているか少し解った。エビを初めて捕まえられて良かった。アサリがもっといかなかったのが残念。子どもたちが夢中になって楽しめて良かった。生き物を沢山見れて良かった。ゴカイを初めて見た。この海の観察会は大人気なのでもっと、回数を増やしてほしい。楽しかった等々。

あまりに暑いので、最後のゴミ拾いは中止の予定でしたが、環境について問題意識を持っている何人かの参加者達が生き物を探すついでに、自発的にゴミ拾いをしていました。

ゴミは公園事務所の方に渡し、観察した生き物はみんなと一緒に海に戻しました。観察会の参加者以外の人たちも浜辺に沢山きて遊んでいましたが、興味をもっているいろいろな質問に来ました。これから先、生き物の過ごしやすい環境になればよいなあと感じました。



みんな興味津々に田島さんに質問。



食えると美しい綺麗なガザミ